

誰もが住み慣れた地域で自立し、安心して心豊かに暮らしていけるまちづくりを—

# 茶屋町地区社協だより

皆様、今年度(令和3年度)も茶屋町地区社会福祉協議会の活動に対し、ご協力ありがとうございました。皆様にご協力いただいた会費、倉敷市社会福祉協議会を通じた赤い羽根共同募金や歳末助け合い募金の収益の一部から助成を受け、茶屋町地区の福祉活動に活用させていただきました。コロナ禍で延期や中止せざるを得ない行事も多くありましたが、今年度の取り組みの一部をご報告いたします。

## 活動報告① 児童生徒の登下校時の見守り活動

地域の有志による見守り隊は、児童たちの登下校時の通学路における安全・防犯を目的として見守り活動を行っています。また、青パトも下校時間を中心にパトロール活動をおこなっており、地区社協では、ボランティア募集をはじめ、見守り隊が着用するキャップや反射ベストの貸与、ボランティア保険やガソリン代などを補助しています。

茶屋町地区は、見通しの悪い所や田畑が多く、用水路など危険な箇所も多いです。お一人でも多くの方に見守り隊への参加・協力をお願いいたします。募集は随時、受け付けております。



### ● 問合せ先 ●

茶屋町地区社会福祉協議会 子育て支援部会 電話：070-5525-1841 (古原まで)

## 活動報告② 茶屋町ウェルカムパーティ・マンスリー 赤ちゃんと遊ぼう!



ふれあい会館にて

—昨年より続くコロナ禍の影響で、乳幼児(就学前)とその保護者らが子育ての不安や悩みを相談できる機会(集まり)が無くなり、場合によっては孤立にも近い状況です。

そこで、新たな取り組みとしてウェルカムパーティー・マンスリーでは、参加者からの不安や疑問、悩み等に対して、助産師の村口裕美氏や作業療法士が各々にアドバイスする形式で開催をしています。



Zoomによるオンライン開催

今後も、一層の感染対策を徹底し、人数制限や事前申込みをお願いする他、場合によっては『Zoom』を使ったオンラインでの一問一答形式による開催など工夫を重ね、5月～翌年3月まで毎月の開催を予定しています。

来年度は、コロナ禍が終息し、以前のような自由参加のイベントとして、地域の方と触れ合いながら、ワイワイ賑やかな集いになることを願っています。

### 活動報告③ 茶屋町ケア会議で「マイタイムライン」を学習

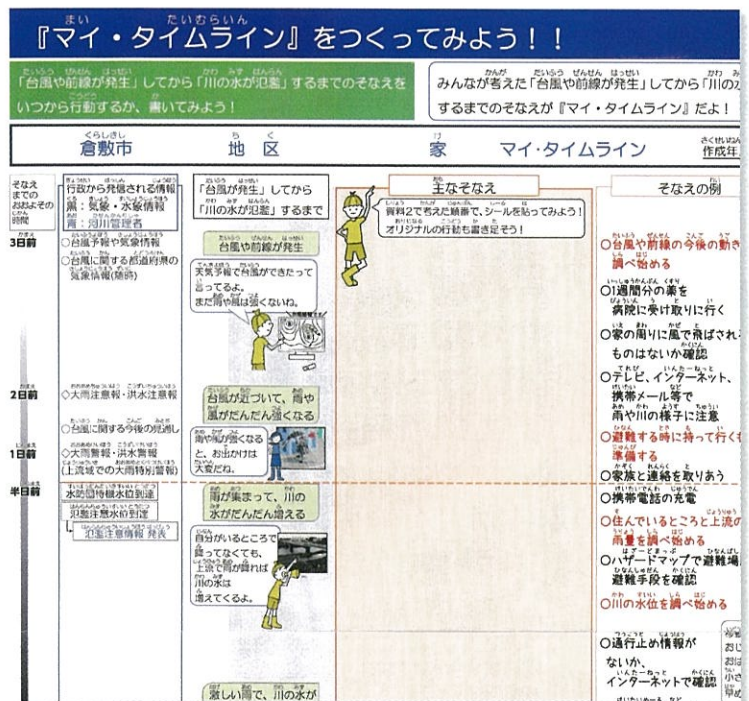
高齢者福祉部会では、地域で安心して暮らしていくための地域の課題や解決策について話し合う「茶屋町小地域ケア会議」を定期的開催しています。

地域防災への関心を高めるため、昨年11月9日、茶屋町公民館で、国土交通省職員の方から「マイタイムライン」について学びました。

マイタイムラインとは、いざというときにあわてることのないよう、災害に備えた住民一人ひとりの避難行動計画のことです。

マイタイムラインを作るため、避難場所の把握、移動中の危険個所の確認、ハザードマップでの自分の住んでいる地域の状況把握など、平日頃から心構えが大切であることが分かりました。

さらに、一人暮らしの高齢者など支援が必要な方は、家族だけでなく地域の人々の協力が不可欠であることを学びました。今後、ケア会議では「マイタイムライン」の啓発と緊急時の要支援者への協力体制づくりについて協議を進めてまいります。



### 編集後記

年に1回の広報誌の発行を次号から夏ごろに予定しています。より多くの皆さんに行事に参加していただけますよう、今後は活動予定の広報に重点を移していくことにしました。茶屋町地区ではコロナ禍での乳幼児の子育ての保護者の孤立化や急増する高齢者の方々の南海大地震や大規模気象災害時の避難への備えなど大きな課題が多くあります。みなさん、一緒に考えていきましょう。

(編集発行：茶屋町地区社会福祉協議会)